

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会福祉調査法 (Social Work Research)		授業コード	E043801
担当教員名	河村 裕次		科目ナンバリングコード	E30921
配当学年	3	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	社会福祉士国家試験受験希望者は必修科目となっています。			
受講心得	見ること、聞くこと、真剣に考えること、そして、自分の意見を持つことを心がけてください。			
教科書				
参考文献及び指定図書	<p>【推奨テキスト】 石田路子(2009)『社会調査の基礎』久美出版</p> <p>【参考テキスト】 社会福祉士養成講座編集委員会編(2009)『社会調査の基礎』中央法規 宮本和彦他(2008)『社会調査の基礎』弘文堂 平山尚他(2008)『ソーシャルワーカーのための社会福祉調査法』ミネルヴァ書房 ※推奨テキストをもとに講義を行いますので、購入をお勧めします。 ※その他参考テキストについては、講義時に随時紹介します。</p>			
関連科目	社会福祉原論, 障害者福祉論, 児童福祉論, 地域福祉論, 相談援助の理論と方法			

授業の目的	こんにちの社会福祉においては、社会福祉調査が必要不可欠な分野となってきた。社会福祉政策や高齢者、障害者、児童等の様々な計画策定のための調査から、サービス利用者のニーズ調査まで、実に幅広い範囲の調査が行われている。
授業の概要	本講義では社会福祉調査を実施・分析をする際に必要となる基礎的知識の習得を目的とする。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション・社会調査と社会福祉調査 本講義の目的および到達目標等について説明します。 社会調査と社会福祉調査の共通点や相違点、社会福祉調査の目的について説明します。	配布資料
第2週：社会調査とは 社会調査の構成要件とその種類について説明します。また、社会調査をなぜ実施するのか(目的)、調査を実施する際および調査結果を読み解く際の留意事項に迫って説明します。	配布資料 小テスト
第3週：社会調査における倫理 社会調査を行うにあたり、調査する側がわきまえておくべき倫理について、①学問としての倫理、②社会調査に特有な倫理、③社会福祉調査に特有な倫理に分けて説明します。	配布資料 小テスト
第4週：社会調査の種類と手法 社会調査の種類について、①調査の目的、②調査方法、③調査項目、④調査対象に分けて説明します。また、量的調査、質的調査について概説します。	配布資料 小テスト
第5週：統計法について 社会調査に関連する統計制度について、①統計法が制定される以前(～1947年)、②統計法制定後(1947年～)について説明します。 また、統計法に規定されている指定統計についてその概要について説明します。	配布資料 小テスト
第6週：質的調査①(調査の内容) 質的調査について、①質的調査と量的調査の関係、②質的調査の考え方、③質的調査の方法について説明します。 また、質的調査において実施される面接調査の方法と質問内容等について説明します。	配布資料 小テスト
第7週：質的調査②(調査における記録)	

質的調査を実際に行う際の注意点及び質的調査における記録の意義と記録方法について説明します。	配布資料 小テスト	
第8週：質的調査③(データ整理と分析) 質的調査において収集された記録の整理方法と分析方法について説明します。	配布資料 小テスト	
第9週：量的調査①(テーマ設定と文献検索, サンプリングについて) 量的調査について, ①そのプロセス, ②テーマの設定方法, ③全数調査と標本抽出について説明します。	配布資料 小テスト	
第10週：量的調査②(調査票の作成) 量的調査を実施する際に用いるアンケート調査を作成するにあたって必要となる, ①仮説の立て方, ②尺度について, ③質問形式の種類と留意点について説明します。	配布資料 小テスト	
第11週：量的調査③(調査票のエンディング, コーディングとデータ入力) 量的調査において回収したアンケート用紙等の点検(エディティング), 数値への置き換え(コーディング), データーの入力方法(Excel)について説明します。	配布資料 小テスト	
第12週：量的調査④(調査データの集計と分析) 量的調査において得られたデータの分析について, ①基本統計, ②クロス集計, ③検定(t検定, X^2 検定)について説明します。	配布資料 小テスト	
第13週：調査報告書のまとめ方 社会調査を実施後に作成する調査報告書について, ①報告書の意義・目的, ②報告書の内容構成について説明します。	配布資料 小テスト	
第14週：ITの活用方法 現在急速に普及が進んでいるITを活用した社会調査のメリットとデメリット, 実施の際の留意事項について説明します。	配布資料 小テスト	
第15週：まとめ これまでの講義内容の振り返りを行います。	配布資料 小テスト	
第16週：期末試験 論述式(90分)の試験を実施します。 ※出題方法等に変更の場合があります。期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考	講義内容については, 進行状況等により変更する場合があります。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	社会調査の意義と目的を理解している 統計法の概要, 社会調査における倫理や個人情報保護について理解している
【技能・表現・コミュニケーション】	量的調査, 質的調査について説明することができる
【思考・判断・創造】	自分自身の興味関心のあるテーマについての調査計画を立てることができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。	50点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	25点			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	25点			
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	